

日本音楽集団

PRO MUSICA NIPPONIA

第161回定期演奏会
The 161st Regular Concert

ASIA 新世紀へ～協調と融合～

To the New Century - Asian Cooperation and Harmonization

企画 米澤 浩

2000年11月22日(水)午後7時開演 津田ホール

■主催

特定非営利活動法人日本音楽集団

■助成

文化庁・日本芸術文化振興会

舞台芸術振興事業

(財)花王芸術・科学財団



■後援

中華人民共和国駐日本国大使館

駐日韓国大使館・文化院

ご挨拶

本日はご来場頂きありがとうございます。

日本音楽集団は創立以来、その活動を通じ数多くの内外のオーケストラ・民族楽団と共演し、私も団員として多種多様の経験を得る事が出来ました。

その中で私が興味を持ち、又少なからず影響を受けたのは、日本の隣に位置する韓国・中国の音楽家との交流です。同じアジア文化圏に身を置き、同じ素材で作られた楽器を使いながらも個性的であり、それぞれの音楽家から垣間見た音楽文化や伝統は魅力に溢れていました。彼らの持つ強い誇りに率直に敬意も抱きました。

日本音楽集団は、「韓国中央國樂管絃楽団」、「中国中央民族楽団」の2団体と共演し、1993年にはそれぞれと友好姉妹提携を締結しました。

私自身、団体の一員として又個人として強く願ってきたのは、隣人同士が相互に協力しなければ生み出し得ない『間(はざま)にある新たな響き』の創出です。

この趣旨に沿って定期演奏会の企画構成を担当する機会が得られたことを嬉しく思っており、今回の定期演奏会が文字通り新世紀における敬意ある協調と融合の一步となることを願っています。

改めまして、今回音楽集団のために新作の書下ろしと客演指揮をご快諾下さった朴 範薫先生、韓国KBS主催公演で共演して以来の親交により客演ソリストとして出演を快諾して下さった宋 飛氏、並びに、後援を頂いた大韓民国駐日大使館文化院、中華人民共和国駐日大使館文化部の方々に心よりお礼申し上げます。

今宵お客様が、日本の楽器が隣人と協力して生み出す『間に生まれた新たな響き』をお楽しみ下されば、企画者として嬉しい限りでございます。

米澤 浩

一、**クリタ～二面の箏のための** (1998年) 中村典子作曲

Nakamura Noriko : KURITA for two Koto

[箏] I 宮越圭子 II 熊沢栄利子

二、**金雀** (1991年) 譚盾作曲

Tan Dun : Golden Sparrow

[尺八] I 藤崎重康 II 米澤浩

[琵琶] 田原順子

[二十絃箏] 吉村七重

[十七絃] 宮越圭子

[打楽器] 尾崎太一

[指揮] 田村文生

三、**秋のコンチェルト** (1984年) 中村八大作曲

Nakamura Hachidai : Concerto for Autumn

[笛] 越智成人 [尺八] I 竹井誠・藤崎重康 II 加藤秀和・米澤浩

[三味線] 箕田司郎

[琵琶] 田原順子

[箏] I 桜井智永・徳野礼子 II 久東寿子・黒澤有美

[十七絃] 城ヶ崎美保・久本桂子

[打楽器] I 尾崎太一 II 若月宣宏

[指揮] 田村拓男

- 休憩 -

四、**二胡協奏曲** (1993年) 長沢勝俊作曲

Nagasawa Katsutoshi : Concerto for Erhu and Japanese Instruments

[二胡独奏] 宋飛 (客演)

[笛] 竹井誠

[尺八] I 藤崎重康 II 加藤秀和 III 米澤浩

[琵琶] 荒井靖貴

[箏] I 桜井智永 II 岸川光代

[十七絃] 中垣雅葉

[打楽器] 仙堂新太郎・立枝恵子

[指揮] 田村拓男

五、**日本楽器によるシナウイ** (委嘱・初演) 朴範薫作曲

Park Bum Hoon : SINAWI for Japanese Instruments

[笛] 竹井誠

[尺八] I 藤崎重康 II 加藤秀和 III 米澤浩

[三味線] 杵家七三

[琵琶] 田原順子・荒井靖貴

[箏] I 熊沢栄利子・早川智子 II 桜井智永・田村法子

[十七絃] 宮越圭子・丸岡映美

[打楽器] 仙堂新太郎・立枝恵子・若月宣宏

[指揮] 朴範薫 (客演)

クリタ～二面の箏のための 中村典子作曲

題名の「クリタ」は琵琶湖の南部、湖東平野に位置する地名であり、漢字では栗太と表記する。少なくとも7世紀頃からつい最近までそう呼ばれてきた地で作曲者は生れ育った。1997年奨学金を得て韓国を訪れた作曲者は、大陸に連なるその地の乾いた空気の中で聴いた伽倻琴（カヤグム）、玄琴（コムンゴ）、牙琴（アジェン）などの日本の箏族とは違った響に触発され、初めて箏のために作曲しようとおもいたった。1998年日本音楽集団第151回定期演奏会委嘱初演作品。

「ASIAからの音楽的未来を創造する素晴らしい企画に〈クリタ〉を加えていただき、とても光栄です。（中村典子）」

中村典子プロフィール

1965年滋賀県生れ。京都市立芸術大学音楽学部作曲専修卒業、同大学院修了。京都音楽協会賞、大学院賞受賞。プレーメン芸術大学へ留学。廣瀬量平、北爪道夫、前田守一、藤島昌壽、田島亘、H.J.カウフマン、ジルベール・アミの各師に師事。日本、ヨーロッパ、アメリカ、メキシコ等で作品上演。平成9年度小倉理三郎音楽奨学金第1回受給者。日本現代音楽協会、日本作曲家協議会会員。現在、京都芸術センター企画委員、京都市立芸術大学専任講師。

金雀 譚盾作曲

「金雀」は、私たちを取り巻く目に見えない美であり、その意味がどんどん転換していってしまう「夢」の輝くような印象を表現している。通常の音楽における休止としての休符は、ここでは豊かな演奏行為の価値として発展している。作曲者は指揮者を見る訓練で、音楽構造上の間を形作ることにより、音のない音量が存在することを見いだしている。演奏行為における無音のダイナミクスの存在がここには表現されている。1991年第119回定期演奏会委嘱初演作品。

譚盾（タン・ダウン）プロフィール

1978年北京中央音楽院作曲科に入学し、黎英海、趙行道の各氏に師事。H.W.ヘンツェ、武満徹などの作曲家の指導も受ける。86年コロンビア大学の奨学金を受けて渡米、同大学修士博士課程を修了。在中国時よりバルトーク国際作曲コンクール他、国内外のコンクールで数多くの賞を獲得。渡米後も世界各国の音楽祭や楽団に招かれ活躍している。日本では、90年アジア音楽祭にて《オン・タオイズム》の発表、93年のサントリー国際作曲委嘱シリーズで《オーケストラ・シアターII：Re》の初演など、好評を博している。

99年、タングルウッド現代音楽祭音楽監督に就任。

秋のコンチェルト 中村八大作曲

「上を向いて歩こう」などで、世界中の人々に愛されてきた中村八大氏の作品。「年を経るにつれて、だんだんと邦楽器の良さにひかれて来るようになった。……ある日、『音楽集団の曲を書きませんか』と聞かれて大喜びした。さて、取りかかってみて、この音の少ない世界の表面に見えない奥の深さが底知れず見えて来て、探れども探れども、とても手に負えない事がわかった。日本の秋を書くつもりだったのが、何時のまにか中国大陸の秋になってみたりもした。少年期に中国で育っただけなのに、どうしてこうもカラッと中国風の秋になってしまうのだろう。……」（初演プログラムより）。1984年第84回定期演奏会委嘱初演作品。

中村八大プロフィール

1931年～1992年。中国、青島生れ。早稲田大学在学中よりジャズピアニストとして注目を浴び、わが国ジャズ界の第一期黄金時代を築く。その一方永六輔氏とのコンビによりレコード大賞受賞曲の「黒い花びら」「こんにちは赤ちゃん」などの数々の名曲を生み出す。日本が世界に誇るジャズピアニスト、作曲家で、米国、アジアを中心として活躍、国際的にも一流の評価を得、遺した楽曲とともに今日でも広く親しまれている。

二胡協奏曲 長沢勝俊作曲

1983年第10次海外公演が北京と上海で行われたとき、作者にとって最も印象に残った楽器が二胡であった。二胡の哀調をおびたなかにもマイルドな趣を含んだ表現の豊かさ、速いテンポを自由に弾きこなせる運動性など、魅力あふれるものであった。それ以来、作者の夢であった二胡と集団の共演は10年後の第128回定期演奏会（1993年）において果たされ、今回は中国のみならず世界各国で活躍する二胡の名手宋飛氏を迎えての再演となる。

宋飛（ソン・フェイ）プロフィール

天津生れ。7歳より二胡を父から学ぶ。1991年中国音楽学院を卒業。中国音楽学院大賞を受賞。95年3月北京コンサートホールで劉天華生誕百年祭『Music from China-Song Fei 二胡ソロコンサート』を開催する。99年から教師として中国音楽学院に転任。

現在、中国音楽家協会、二胡学会の理事、北京中央民族楽団のソリスト、全国青年連合会の委員である。96年6月中国音楽の宣伝、調査、演奏のために、9名の女性トップソリストによるアンサンブル『華韻九芳』を設立し、多くの人に注目されている。



長沢勝俊プロフィール

1923年東京に生れる。清瀬保二に作曲を師事。64年の日本音楽集団創立に参加。49年以来人形劇団「ブーク」の音楽を監修。86年歌舞伎・市川猿之助「ヤマトタケル」の音楽を作曲。90年紫綬褒章を受章。6回の日本音楽集団の海外公演に参加。日本大学芸術学部修了。92年より日本音楽集団の名誉代表。「子供のための組曲」「組曲・人形風土記」「大津絵幻想」「萌春」「錦木によせて」他、邦楽器のための作品多数。

日本楽器によるシナウイ 朴範薫作曲

シナウイとは、ソウル以南（京畿道、忠清道、全羅道）の世襲巫（シャーマン）のクッ（儀式）に伴う音楽、またそれに基づいた音楽のことである。遅いテンポから速いテンポへ進行する長短（チャンダン＝周期性を持つリズム）の形式に合わせながらそれぞれの楽器が即興的に演奏していく形式を持っている。あたかも靈魂の叫びを連想させるような悲痛な調子の音楽である。今回の「日本楽器によるシナウイ」は、韓国音楽の元祖とも言われるシナウイを日本楽器に乗せて展開させようと試みた作品である。

朴範薫（パク・ボン・ブン）プロフィール

韓国中央大学芸術大学音楽科修了。武蔵野音楽大学及び大学院作曲科修了（日本）。

韓国東国大学校仏教学科博士課程修了（哲学博士）。国立国楽管弦楽団団長及び芸術総監督歴任。現在、オーケストラ・アジア韓国代表、及び常任指揮者。中央大学音楽大学韓国音楽科教授。ソウル国楽芸術高校理事長。

大韓民国国民勳章、韓国舞踊音楽作曲賞、KBS国楽大賞作曲賞、大韓民国作曲大賞を受賞。



日本音楽集団 最近の活動と今後のおもな予定

2000年

5月22日(月)～25日(木) 長野更埴地区鑑賞音楽教室

6月30日(金)～7月8日(土) 松江市・安来市学校巡回公演

7月13日(木) 中村久子女史生誕百年によせる講演と音楽の夕べ 郡上八幡総合文化センター

7月14日(金) 郡上八幡学校公演

7月25日(火)～26日(水) 日本の森と親子ふれあい体験! イン信州 ～森林には木の音楽もいっぱい～ 丸子町・
(財) 信州国際音楽村「ホールこだま」「研修センター」+「周囲の森林」

8月6日(日) 日本音楽集団&篠井英介 真夏の夜の怪異譚「百物語より」 びわ湖ホール

8月8日(火) 日本音楽集団&篠井英介 真夏の夜の怪異譚「百物語より」 津田ホール

9月20日(水) 第160回定期演奏会～秋の夜の夢～ バリオホール

10月3日(火)～6日(金) 宇和島市内学校巡回公演

10月7日(土) 宇和島城築城400年祭記念公演「竹取物語」 南予文化会館

10月19日(木) 下妻市立第一高等学校音楽鑑賞会 下妻市民文化会館

11月2日(木) 岐阜県大野町学校公演 大野町総合町民センター

11月15日(水) 八日市市芸術文化祭(「ディヴェルティメント」「大津絵幻想」他) 八日市文化芸術会館

11月19日(日) 上田グローリア合唱団創立50周年記念演奏会～長井一成先生の思い出とともに～(「つつじの乙女」
を共演) 上田市民会館

11月22日(水) 第161回定期演奏会 ～ASIA新世紀へ 協調と融合～ 津田ホール

12月8日(金) 宝仙小学校学校音楽鑑賞教室

12月21日(木) 清泉女学院中学高等学校音楽鑑賞教室

2001年

1月26日(金) 第162回定期演奏会 ～時空を越えてI～ 津田ホール

3月1日(木) 日本音楽集団演奏会(郢曲「鬢多々良」、夷曲「西綾楽」他) 新潟市音楽文化会館

3月10日(土) 日本音楽集団熊本公演 熊本市市民会館大ホール

5月16日(水) 第163回定期演奏会 ～時空を越えてII～ 津田ホール

.....

日本音楽集団第25次海外公演

「プラハの春音楽祭」に出演

来春、2001年5月下旬から6月上旬にかけて第25次海外公演を行います。

世界有数の音楽祭「プラハの春」に招かれ、演奏(5/27)することになりました。

また、他にもパリ、モロッコなどでの公演が予定されています。

プログラムは下記のようなものを中心に行います。

- 一、新八千代獅子/藤永検校作曲
 - 二、古代舞曲によるパラフレーズ/三木稔作曲
 - 三、夢あわせ夢たがえ/吉松隆作曲
 - 四、郢曲「鬢多々良」/伊福部昭作曲
-

【賛助会員】

法人	(株) 全音楽譜出版社	個人	中島靖子	家永和治	岸彰則	堤紀江
	(財) 正派邦楽会			伊藤美恵子	工藤秀也	手塚愛子
	(株) 宮本卯之助商店		木津のぶ	今村厚子	後藤隆	野原清子
				今村文彦	後藤陽子	藤澤美恵
			青戸純夫	植木眞代	桜田正憲	本田実
			青柳堯	大関富枝	佐々木浩二	水野正徳
			安達眞五	太田颯衣	柴田寛二	森山俊雄
			新井克輔	大瀧進一郎	杉田和繁	山崎時男
			飯塚絹子	川壁正	田原たま	渡辺ハル

2000年11月1日現在

賛助会員へのお誘い

昨年10月、特定非営利活動法人日本音楽集団が発足したのを契機に、賛助会員を募集しています。多くの方々からのご支援を仰ぎ、世紀を超えた息の長い活動を目指したく、ご協力お願い申し上げます。

募集の詳細はチラシをご参照ください。



日本音楽集団35周年記念CDシリーズ第Ⅲ集

「大津絵幻想」 本日より発売

収録曲

大津絵幻想 長沢勝俊作曲 NAGASAWA Katsutoshi : OTSU-E FANTASY

文様Ⅰ・Ⅱ 三木稔作曲 MIKI Minoru : AYAⅠ・Ⅱ

春の一日 長沢勝俊作曲 NAGASAWA Katsutoshi : ONE DAY IN SPRING

新千鳥の曲 秋岸寛久編曲・尾崎太一手付

Arranged by AKIGISHI Hirohisa & OZAKI Taichi : SHIN CHIDORI NO KYOKU

特定非営利活動法人

日本音楽集団

〒151-0073 東京都渋谷区笹塚3-17-1 滝沢ビル302

TEL 03-3378-4741 FAX 03-3376-2033

ホームページ URL <http://www.promusica.or.jp/index.html>

E-Mail office@promusica.or.jp

箏

二十絃箏

箏を愛するすべての人の繊細な感情を忠実に音に表現するために、楽器の本質を追求した箏

日本音楽集団推薦

琴光堂和楽器店

東京都目黒区碑文谷2-19-15 TAEL (3792)8481 FAX(3792)8437



アイ・エム・エス ●楽器リース●保管●移動●ステージ・スタッフ派遣

〒167-0043 東京都杉並区上荻2-3-4

ゆうでんビル

PHONE.03-3397-2292

FAX. 03-3397-7728